

大穂中学校 学校だより 大穂プライド

2026年度No. 1

文責 校長 松房道之 令和8年4月15日

今年度、校長として赴任しました松房 道之（まつふさ みちゆき）です。以前、大穂中学校に勤務していたことがあり、18年ぶりの復帰となります。また、大穂中学校の一員となったことを大変うれしく感じています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和8年度の大穂中学校は、生徒416名（7年生134名、8年生126名、9年生156名）、学級数18（内、特別支援学級5）でスタートしました。

始業式の新9年生、新8年生の態度はとても堂々としていて、雰囲気も明るく、新年度の学校生活への意気込みを強く感じました。啓志式（中学校入学式）の7年生は、緊張の中にも明るい表情も多く見られました。これから、大穂中学校の一員としての活躍を期待しています。

学校教育目標は、

「共に高め合い、粘り強く努力する生徒の育成～夢への挑戦『大穂プライド』」。昨年度からの継続です。令和8年度の大穂中学校の生徒が見せてくれる「大穂プライド」は、どんなものなのか。4月には9年生の修学旅行、5月には体育祭、部活動の総体（総合体育大会）などを通して、示してくれると期待しています。

【始業式の式辞より】

～年度が変わり、学年が上がるということは、大きな節目です。これまでの自分を大切にしながらも、もう一步成長した自分を目指してほしいと思います。

そのために、私から三つがんばってほしいことがあります。

一つ目は「**自分を成長させる意志をもつこと**」です。皆さんは体も心も大きく成長する時期ですが、成長する意志を持つと持たないとでは、とくに内面、心の成長は大きく違います。ぜひ、自分を成長させる気持ちを強くもって学校生活に臨んでください。

二つ目は「**人とつながる力を伸ばすこと**」です。仲の良い友達と関係を深めることも大事です。また、新しい仲間を増やしていくことも同じく大事です。新年度はその大きなチャンスです。友達や先生、周りの人との関わりの中で、その力を伸ばしてください。

三つ目は「**未来を見据えること**」です。未来の可能性は無限に広がっていますが、うっかりすると迷ってしまうこともあります。しっかりと自分の希望、未来を見据えて毎日を送ってほしいと思います。～

【啓志式の様子】

【新入生教室風景】



【啓志式：歓迎の言葉】

